

広 報

ふじかわ

7 月 号 昭和58年 7 月20日 発行

No. 2 6 4

町 の メ モ

昭和58年 7 月 1 日 現在	
人 口	16,982人
増 減	+ 8人
男	8,369人
女	8,613人
世帯数	4,359世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



町の今年の目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

お母さんと
いっしょで
うれしいな
ぼくがんばるよ
(親子スポーツ教室)

「親子スポーツ教室」は、3歳児をもつ親子30組を対象に健康・体力づくりの推進とファミリースポーツの普及をはかることを目的として開設され、5月18日から7月20日まで毎週水曜日町立体育館でおこなわれていました。

広々とした体育館内では、リズムあそびやボールあそび・ダンス等親子共に汗をかきながら楽しそうにとびはねていました。

今年度は、参加希望者が特に多いために2会場にわけ、10月からは松野地区で開設されます。みなさんには、9月初旬ごろお知らせしますのでお楽しみにお待ちください。

夏の交通安全 県民運動始まる

7月20日～
8月9日

「交通事故〇をめぐらず〇」8月1日

最近、交通事故に対する危機感と緊張感がやや中だるみの傾向を見せはじめ、交通戦争はもう終わったというような誤った見方がなされてきています。

このような背景が、交通安全に対する「気のゆるみ」・「認識の甘さ、意識の低下」をもたらし、また交通道徳低下や一部ドライバーの運転モラルの欠如を生み出し、交通事故多発・死亡事故の増加を招く結果となっています。

この運動は、夏の解放感等で交通事故の多発が予想されるので、ここで、わたしたち一人ひとりが、交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーを実践づけることにより、交通事故の防止を図ることを目的として展開されます。

今年特に、8月1日が「交通事故〇の日」として設定されました。

実施要項

- ◎夏休みにおける子どもの交通事故防止
 - 7月20日(水) 富士川駅前交差点及び秀村病院前での街頭指導
 - 7月21日(木) 子どもの交通事故防止の日
 - 7月22日(金) 交通安全日……歩行者に対する交通安全指導の日
 - 7月23日(土) 夜間パトロール
 - 7月25日(月) 二輪車・自転車安全指導の日
- ◎暴走運転の絶滅
 - 7月20日(水) 交通安全日……歩行者に対する交通安全指導の日
 - 7月22日(金) 交通安全日
 - 7月23日(土) 夜間パトロール
 - 7月25日(月) 飲酒運転防止の日
- ◎自転車・二輪車事故防止
 - 8月1日(月) 踏切指導の日
 - 8月5日(金) 交通安全日
 - 8月8日(月) 交通安全日
 - 8月9日(火) 飲酒運転防止の日
- ◎町の運動の進め方
 - 7月21日(木) シートベルト・ヘルメット着用指導徹底の日
 - 7月22日(金) 交通安全日
 - 7月23日(土) 夜間パトロール
 - 7月25日(月) 飲酒運転防止の日

重点目標

夏休みにおける子どもの交通事故防止は、交通安全協会富士川分会や警察署の協力を得て「交通安全教室」を開催し、「正しい安全な横断」「自転車の安全な乗り方」等を指導します。

◎保育園、幼稚園、小・中学校では、学級指導、児童会、生徒会活動、学校行事等を通じて、横断するときは「必ずいったん止まる、見る、注意して渡る」等の励行を指導します。また、保護者への子どもの交通安全指導の呼びかけ、更に子どもを通じて家族への交通ルール遵守の呼びかけに努めてください。

◎家庭では、保護者自身が子どもの手本となるよう、常に正しい交通ルールとマナーを実践し、身をもって交通安全のしつけに努めましょう。また、夏休みには、子どもが自宅付近で遊ぶ機会が増え、危険が多いので、お母さんが中心となって家族みんなで話し合い、「道路への飛び出しや「遊び場」等、生活全般について注意してください。

◎職場では、職場交通安全会等で講習会の機会を利用し、運転車に対して、歩行者、特に横断する子どもを見かけたら、一時停止して保護する「思いやり」の通行に努めるよう指導してください。



「たしかめて渡るあなたが
子の手本。(一幼交通教室)



「習慣にしようシートベルトとヘルメット、
堤防道路におけるシートベルト、ヘルメット着用調査中」
の交通安全協会員及び警察署員

暴走運転の絶滅

○富士川町では、各種会合、講習会等を通じて「安全運転5則」、「高速運転安全5則」を周知徹底します。特に、二輪ライダーを含む若い運転者のみなさんに対する交通安全指導を推進します。

○家庭・職場では、家族、職場

交通安全標語

思いやり

ゆずる心で

防ぐ事故

あきかんは

ぼくもわたしも

くずかごへ

急いでも

きちんと見ます

みぎひだり

安全運転5則

①安全速度を必ず守る

②カーブの手前でスピードを落とす。

③交差点では必ず安全を確かめる。

④一時停止で横断歩行者の安全を守る。

⑤飲酒運転は絶対にしない。

高速運転安全5則

①安全速度を守る。

②十分な車間距離をとる。

③割込みをしない。

④わき見運転をしない。

⑤路肩を走行しない。

蒲原警察署管内の交通事故発生状況

(58・6・30現在)

全事故	人数		物損		死者	傷者
	人	身	損	事		
富士川町	39	23	25	15	0	49
蒲原町	30	21	29	20	0	30
由比町	30	24	21	14	0	30
計	109	84	75	55	0	109
	(93)	(73)	(55)	(37)	(1)	(93)

別線路	富士川身延線		富士由比バイパス線		国道一号线		人身物損
	富士川	身延	由比	バイパス	国道	一号线	
計	39	23	25	15	21	29	30
その他	14	9	7	3	1	3	3
町道	1	7	1	10	1	14	1
一般道	1	3	1	13	1	14	1
富士川	11	6	4	3	4	6	4
身延	7	6	3	8	3	6	3
由比	6	6	6	3	6	3	6
国道	13	5	9	11	11	12	11
一号线	6	6	5	3	5	3	6
計	18	18	18	18	18	60	18
	(12)	(17)	(12)	(17)	(17)	(47)	(47)

事故種別	子ども		高齢者		無免許		飲酒		二輪自動車	
	幼	小	中	学	校	生	人	許	酒	二輪
歩行者	3	2	1	1	1	1	1	1	2	2
自転車	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2
幼児	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
小児	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
中学生	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
高校生	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
無免許	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2
飲酒	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2
二輪自動車	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2
原動機付自転車	10	6	2	2	2	2	2	2	2	2
計	16	15	12	12	4	8	4	4	16	16
	(15)	(12)	(13)	(13)	(1)	(1)	(1)	(1)	(16)	(16)

注：()は前年同期の数字

突然襲ってくる大地震に備え

9月1日(木) 広域防災訓練

9月4日(日) 地域防災訓練を実施

9月1日(木) 広域防災訓練は

訓練参加機関等

- 国・県・町
- 指定公共機関及び指定地方公共機関
- 民間事業所、学校、病院、福祉施設等

訓練想定

- 午前7時30分—気象庁は東海地域の地震データに異状を認め、ただちに「地震防災対策強化地域判定会」を招集。
- 午前7時40分—判定会招集の情報を受けた警備員から町長・助役・収入役・教育長・総務課長、消防所長・消防団長・派出所長に伝達。

突然おそってくる大地震の予知が成功したならば、わたしたちがうける災害は最少限にいくとめることができるといわれています。

わが国では、20年位前から地震予知の研究が進められていますが、自然が相手のため、まだまだ手さぐりの段階にあります。

大地震のこわさは昔も今も変わりません。地震災害についての認識を深め常に

その心構えをおこたることなく、いざという時に備えておくことが大切です。

昨年度まで県下一斉「総合防災訓練」は、9月1日の「防災の日」におこなわれてきましたが、本年度は、9月1日は、広域防災訓練がおこなわれ、9月4日には、地区の実情にそくした地域防災訓練がおこなわれることになりましたので、両訓練計画の概要について、みなさんにお知らせします。

- 出先機関、関係機関の応急活動実施状況を受理。
 - 応急復旧状況の報告をうける。
 - 午後2時—災害対策本部の閉鎖
 - 訓練終了の広報。
 - 参加機関への終了報告。
 - 県支部との最終確認報告。
- #### 各事業所ごとの訓練内容
- 防護訓練(ガラス・物品落下物)
 - 出火防止訓練(ガス、ボイラー、危険物)
 - 消火訓練(消火器、小型ポンプ)
 - 救急救護訓練(応急手当、ケガ人の搬送)
 - 情報伝達訓練(情報収集)
 - 炊き出し訓練
 - 給水訓練
- ※各事業所では、実情にそくした訓練を実施し報告。

消防団の訓練内容

- 判定会による非常招集
- 応急対策の実施
- 警戒宣言の広報
- 各分団管轄地域パトロール
- 被害状況の把握、救護活動
- 応急復旧活動の実施

- 午前8時—同メンバーによる緊急会議を開き、判定会招集の報告、警戒本部の設置準備、本部用員の配置準備。
- 午前8時20分—班長(課長)会議を開き、判定会招集の報告、各班員の配置指示、応急対策の指示及び実施。
- 午前9時30分—「警戒宣言」発令
- 午前9時31分—「警戒宣言」覚知
- 午前9時32分—警戒本部の設置
- 各分団長にサイレン吹鳴の依頼(45秒鳴らし15秒休み3回くり返す)。
- 同報無線や広報車で「警戒宣言発令」をみなさんに知らせるとともに、関係機関へも知らせる。

- 幼稚園、小・中学校、保育園その他の町有施設に情報連絡員を派遣。
- 危険地域への町内巡回パトロールを実施。
- 事業ごとに訓練実施。班員を派遣。
- 午前11時—「発震」
- 同報無線により火災予防等について広報。
- 午前11時2分—災害対策本部を設置
- 被害状況の把握、応急活動及び、町内の巡回パトロールを実施。
- 各事業所ごと訓練を実施。
- 被害調査報告・受理
- 被害調査のため班員を派遣。
- 各事業所における被害状況を把握。

9月4日(日) 地域防災訓練は

訓練参加機関等

- 自主防災組織
- 地域のみなさん
- 町

訓練想定

- 午前7時30分—判定会招集
- 午前7時40分—判定会招集の情報を受理し伝達。(伝達方法は、広域防災訓練と同じです)。
- 緊急会議
- 午前9時—「警戒宣言」発令
- 午前9時1分—「警戒宣言」の覚知
- 午前9時2分—警戒本部の設置
- 各分団長にサイレン吹鳴の依頼(45秒鳴らし15秒休み3回くり返す)
- 同報無線や広報車で「警戒宣言発令」をみなさんに知らせる。
- アマチュア無線連絡員による広報。
- 各自自主防ご実情に即した訓練を実施。
- 自主防訓練実施に伴う町内

訓練参加機関等

- 巡回パトロール。
- 午前10時—「発震」
- 同報無線により火災予防等について広報する。
- 災害対策本部の設置
- アマチュア無線連絡員による被害状況の把握。
- 応急活動の実施。
- 被害状況に伴う町内巡回パトロール及び訓練実施。
- 各自自主防ご訓練指導。
- 被害の収集及び報告受理
- 正午—災害対策本部の閉鎖
- 訓練終了の広報。
- 参加機関への終了報告。

自主防災組織の訓練内容

- 情報伝達の訓練
- 避難訓練
- 消火、救出、救護訓練
- 避難生活訓練

家庭内における訓練

- 情報の確認
- 出火防止
- 非常持出品の確認
- 家の中の整理と安全確認
- 服装、はきものの点検
- 老人、病人の安全確保
- 家のまわりの安全確認
- 児童、生徒のひきとり



完成した坂下地先の護岸工事

舟山町・坂下区のみなさん 護岸工事が完成しました

3月4日から舟山町及び坂下地先で、富士川右岸復旧護岸工事が進められてきました。6月11日無事完成しました。

この復旧工事は、昨年8月の台風10号による出水で、舟山町及び坂下に接する富士川の河床が削られ、危険な状態となっていたため、同地区のみなさんの

安全を守るために、総事業費4億2千万円でおこなわれました。みなさんも安心してください」と話していました。



河川愛護にご協力ください
河川愛護モニター(65) 建設省で
モーター(1) 富士川
桜井清(東)や堤防にご
みななどを不

法に捨て、また、無許可で土砂を採取している状況を監視するために、河川愛護モニターを設置しています。

同モニターには、当町の桜井さんが昭和56年度から委嘱されています。

桜井さんは、「夜おそくゴミをすてにくる人が多いようです。わたしたちの川をきれいにするには、みなさんに自覚をもってもらいたい」と話していました。



今月のテーマ 広報ディスカッション 夏休み 今年の計画

提言者 大石友紀さん
(二小六年・南町二)

なにか一つ

やりとうします

二小五年(南町二)望月謙くん
してがんばるつもりです。計画だけで終わらない様子がかなり楽しい夏休みにしたいです。

子ども達のびっくり箱

上町 蒔田エミ子さん(7)



ぼくは、毎年計画を立てても始めだけで、すぐだらけてしまひなんとなく夏休みをすごしてしまします。それで今年も、なにか一つやり通すものを決めて、それに向ってがんばろうと思います。何にしようかいろいろ考えましたが、今年は、水泳に挑戦しようと思います。

毎日プールに行き、いっしょうけんめい練習して三級を目ざ

4年生の時に、心臓を悪くして運動ができませんでした。友達がみんな元気に遊んだり運動したりしているのを見ると大変うらやましかったんです。心臓の病気もなおったので、じょうぶな体をつくりたいと思って、体力づくりをしました。内容としては、水泳、なわとび、マラソンなどです。その中でも水泳にねつを入れたらいいと思います。『クロール』と『平泳ぎ』で100m以上泳げるようにがんばりたいです。そして、小学校時代のよい思い出も、この夏休みにたくさんつくりたいです。中学校に行くとき度は、『部活』という大きな課題があります。その『部活』にも耐えられるように、今から体力をたくさん身につけたいと思います。

一六六年(堺町)白鳥由実さん

私は、一カ月以上もある長い夏休みで、一番楽しみにしているのは、地区で毎年おこなっているバス旅行です。今年も、『三保の文化ランド』に7月29日に行く予定です。1年生から6年生までいっしょのバスです。バスガイドさ

という間だから鈍行で行くことに決定。科学博物館へ行く」と言う。今まで知らなかったことの発見。プランをまとめた満足に、その日はキラキラしていました。私達も苦笑しながら、その輝いてる目を更に満足させるために、そのプランに素直にのっただけです。この夏も張り切って旅行プランをたててくれることでしょう。

どこへ連れていってくれることやら……。何が飛び出すか？びっくり箱をあける様な楽しみです。

計画をしつかりたてた夏休みを

木島 遠藤節子さん(9)

夏休みの計画というと、どこに行こうか、いつにしようか、と他所へ出かけることばかりが先立ってしまう。どこかでこんな文章を眼にした。皆が夏休みに遊びに出かける。それに遅れまいと、我も我もとレジャーにはしる。夏が過ぎ、秋が訪れる。過ぎ去った夏を振り返って見た時、むなし焦燥感が残ると……。何ごとにも無計画というのは

んと歌を歌ったりしてバスの中で楽しく過ごし、目的地に着きプールで元気いっぱい泳ぎ、友達と楽しく一日遊べるので、とても楽しみに待っています。流れるプールで友達と何m泳げるか競争したり、私の不得意な平泳ぎも練習したいと思っています。

小学校生活最後の夏休みなので、この行事ほかたくさん思い出をつくらうと思います。

思いやり

(儘下町)中川千枝子さん(8)

わが家の夏休みは、毎年きまって両親の待つか帰郷することになっています。親孝行とバカンスを兼ねた夏休みを親子も楽しみにしています。出発する時、留守番をする私の父母に手をふりながらいつまでも

充実感がないものである。しかし、夏休みというのは、大人も子どもも、仕事や勉強から解放され、幾分ルーズに遊びたいものではなかるうか。遊びに没頭できる子ども時代は、二度とこない。遊べる時期に存分に遊び、遊びから様々なものを身につける。心身共に鍛えてほしいと思うのがこの夏休みだ。おおいに水泳、せみとり、魚釣りと楽しんでほしい。しかし、長い夏休み、子どもが自分で計画をたて、親は規律ある生活がおくれるよう配慮してあげたい。

楽しみなキャンプ

一三四年四十九町川越千絵さん

わたしは、毎年夏休みになるとキャンプに行きます。行く前に一日目はカレーとかつぎの朝はじゃがいもとわかめ



後をみつめ、そっと涙ぐんでいる長女、ひやかしにも似たなぐさめの言葉で茶化している二女、そんな光景を後ろ目に見、あわれさと喜びの交差する複雑な思いの出発の一コマです。一週間程の帰郷は、わが家にとって「互いの思いやり」を確認する大切な時でもあります。当然として生活している父母、半年間離れている義父母、そして友達、この間は逆になり、生活習慣も異なり、普段の当然のことが一つ一つ裏側から見ると、反省することの多い日々です。一週間の別れに涙ぐみ半年ぶりのなつかしさに喜ぶ、そんな心の葛藤を通じて親子共々親の

また友達に、何を思いやるかを学び、身につけ、育むことができるこの帰郷が、毎年、わが家の大切な行事となっています。



提言者 山本一さん(75) (本通一)

広報ディスカッション

8月のテーマ

わたしの健康法

人間にとって健康で長生きすることは何よりも望ましいことであり、最も幸福なことである。最近、特に色々な健康法が推奨されているが、人にはそれぞれ興味嗜好体調があつて簡単にこれがよいと決定しかねることがある。要は各人の体質に適合するとみずからが信ずる方法を選択することがよい。なお、体験の結果よいと確認できたものは、長期間継続して実行することが必要である。又、自分自身が毎年楽しんでやれる運動に作り上げる努力を忘れてはならない。私も、手近でできる運動を

と考え富士川堤防の道路約6kmを目標として、早朝ジョギングをはじめたが、最初の頃は何となく不安の気持で、これが長く続けられるかと心配でしたが、回を重ねることに楽しさと自信がわき、年月のたつのは早いもので、はじめから3年6カ月を経過し、この頃は私の日課として定着し、雨のため中止のときは、何かものたりなさを感じるようになった。おかげさまで、身体は丈夫で、これと言う病気にもかからず健康で楽しい毎日をおくることができ心から感謝にたえない。今後とも、体力の増進と健康の保持に努めたい。

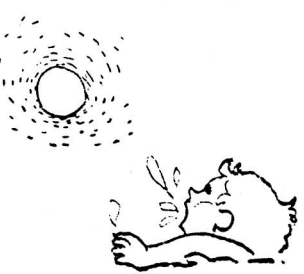
投稿者へ

- ◎8月のテーマ わたしの健康法
- ◎字数 400字づつ原稿用紙一枚以内
- ◎締切日及び投稿先 8月6日(土)まで富士川町役場総務課へ
- ◎注意事項 住所・氏名・年齢記載のこと

のみそしるにしようとか、みんなです。今年も、なにか一つやり通すものを決めて、それに向ってがんばろうと思います。何にしようかいろいろ考えましたが、今年は、水泳に挑戦しようと思います。毎日プールに行き、いっしょうけんめい練習して三級を目ざ

4年生の時に、心臓を悪くして運動ができませんでした。友達がみんな元気に遊んだり運動したりしているのを見ると大変うらやましかったんです。心臓の病気もなおったので、じょうぶな体をつくりたいと思って、体力づくりをしました。内容としては、水泳、なわとび、マラソンなどです。その中でも水泳にねつを入れたらいいと思います。『クロール』と『平泳ぎ』で100m以上泳げるようにがんばりたいです。そして、小学校時代のよい思い出も、この夏休みにたくさんつくりたいです。中学校に行くとき度は、『部活』という大きな課題があります。その『部活』にも耐えられるように、今から体力をたくさん身につけたいと思います。

小学校生活最後の夏休みなので、この行事ほかたくさん思い出をつくらうと思います。思いやり



また友達に、何を思いやるかを学び、身につけ、育むことができるこの帰郷が、毎年、わが家の大切な行事となっています。

ママさん記者が取材中



“劇団創炎”

員によって活動しています。八幡町にありますプレハブ事務所。道場では、10月中旬に蒲原文化センターで予定している自主公演(題名「雨宮ちよの処分」)に向けて、毎週月・金曜日午後7時から9時まで少人数ながら熱心に猛練習を続けています。

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分

○文化祭協力…毎年

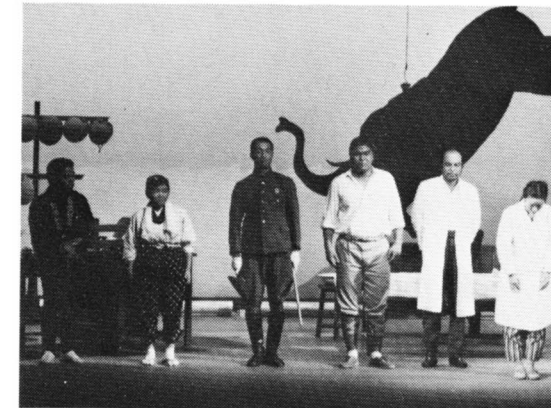
○道場及び周辺の掃除

○最後に望月さんは

○団員の家族やOB等が、休日

○自主公演…10月中旬頃蒲原文化センター

○雨宮ちよの処分



今年の公演「象の死」より

「団を運営していくには、劇をやらない裏方さんを含めても25人から30人位の団員が必要で、老若男女は問わず、誰でもいつでも入団できますので、興味ある人はぜひ入団してください」と話していました。(連絡先—道場85—2951・望月さん宅81—2930)

久保田敬子

社会教育の自立 ゆとりと読書

書物が人に与える影響…それは、その書物の種類と読み手の受けとめ方により様々な異なりはあるが、総じて言える事は、その書物から読み手が、ある感動を呼び起こさず、結果として感銘を受けた時に起こる心の変化によるところが大きい。

それらの影響は、随筆の中にひそむ筆者の生活の有り様やひととなりとの出会いからでもあり、小説の場面くくりに生きづく主人公の人生観、歴史読み物の風俗考証などからでもあろうが、こうした味をふんだんに持つものを良書というのだろうと思う。

こうした良書は、読む人をして無意識のうちに書物の中味に没入させ、我を忘れさせ、心に感動を与えてくれるものである。まさに「感化」とは無意識の領域にある」がごくである。

このごろの様に時代が気ぜわしいと、じっくりと一冊の本を読みふけるだけの時間的余裕がなくなっている。

こんな場面設定の中で心身ともにゆったりとした気分、好きな読書にひたれたらという願望が強い。私たちは今の時代のめまぐるしさの中で生きていく人間だからこそ、日常生活の中に一点の潤いと心のゆとりを意識的に位置づける必然性があるのではないだろうか。そこを求めている。

青少年の豊かな心を育てよう

基本的な生活習慣

子どもたちの健全な成長に欠かせない。いまの子どもたちは、物に恵まれた社会に育ち、飢えを知らない世代といわれています。

しかし、その一方で、この社会が作り出した教育・しつけでのさまざまな「マイナス面」が目立ってきています。

「いい中学、高校、大学へ」といった教育に対する過熱、急激な都市化などによる心の荒廃や非行の増大、さらに学生が実社会に出たがらない。現代は、青少年の人間形成にとって好ましくない状況が多いといえます。いくら物に恵まれ、社会が豊かになっても、それが



子どもの健全な成長に欠かせない。そのまま心の豊かさにはつながらない——このことをもう一度確認し、新しい時代にふさわしい教育のあり方を見極め、実践していくことが大切です。

子どもたちの健全な成長にとって大切なものは、基本的な生活習慣が身につけていることです。社会生活に適應していくために欠かせない基本的なものの考え方、道徳に基づいた行動の仕方、こうした基本的な生活習慣は、家庭をはじめ友達や社会の中で自然と身につけていくものといえます。

しかし、現実を目を向ければ、

- ◎あいきつができるようにする。
- ◎交通ルールを身につけさせる。
- ◎約束の時間が守れるようにする。
- ◎相手の立場が尊重できるようにする。
- ◎公共の物を大切にすることを養う。

資料・東海地震⑫ 安政東海地震の津波

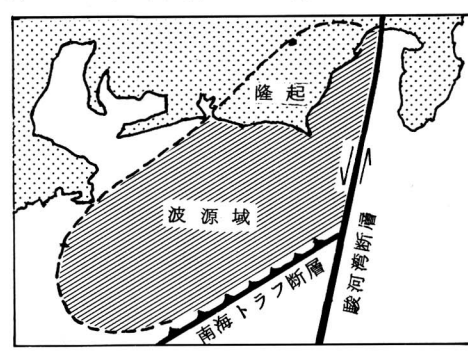
東大地震研 恒石幸正

も地震研にいた羽鳥徳太郎氏は「安政東海地震」の津波を調査しました。その結果、下田や浜岡では波高が7mにもなりましたが、興津から原までの海岸では3mだったことがわかっています。この程度の波ならば特に心配することはないわけです。でも、海岸で大きな地震を感じたら、ともかく高いところへ逃げる必要があります。

津波はどうやって起こるのでしょうか。地震のとき海底が地殻変動によって隆起することからです。

羽鳥氏の研究によりますと、安政東海地震時には図の斜線で示した範囲の海底がもちあがりしました。御前崎を含む陸上部分も隆起しました。波源域の南側と東側には、南海トラフ断層と駿河湾断層があります。ですから、地震は両方の断層活動によって発生したと考えられます。

駿河湾断層は富士川断層の続きですから左横すべり断層



戸籍の窓

S 58・6・1く6・30届出

(敬称略)

おめでた

区名 氏名 保護者続柄

室野 望月小百合 活由 二女

相生町 水上 歩 正和 二女

旭町 益川宏康 康夫 二男

旭町 芦川崇仁 啓二 長男

旭町 渡邊佳奈 泰昭 二女

四十九町 阿武俊満 毅 二男

旭町 塩川可奈子 美則 長女

日の出町 関口 裕 博 長男

かぎあな 青木謙祐 英男 長男
八幡町 望月昭洋 信 二男
富士松野 高橋麻里矢 忠誠 二女

かなしみ

区名 氏名 年齢

上 町 勝又朗夫 六一

四十九町 堀澤 榮 五八

旭町 及川かつ 八一

旭町 富士松野 望月一磨 四七

旭町 市川ウタ 七九

清水町 小池平市 六六

大北町 佐野ウシ 八一

一里塚



今年の4月に役場の職員として採用されてから、3カ月たちました。

今まで同年代の人達と毎日生活するのがあたりまえのように思っていた私だったので、私も年上の人達ばかりの中での生活が始まった時、とてもとまどいました。

私の配属された民生課は、窓

お母さんの

知恵袋

由比の特産品である桜えびを使って婦人会館で、料理講習会を行いました。その時に作った中から、割合楽に作れる二品をみなさんに紹介いたします。

桜えびピザトースト

①パンにピザソースをぬり、桜えびを散らし、パセリ、玉ねぎ、ピーマンの輪ぎりをのせ、チーズをのせてマージョラムをかける。

②オーブントースターに入れチーズがとけるまで、焼く。

こしょうをふる。

桜えびの強肴

お酒のおつまみにもとてもおきます。

①桜えびをさつとあららい、水気をきる。

②長芋を太めのマッチ棒大に切

したが、とても毎日が充実していました。

これからは、形式ばかりでなく仕事の内容もよく理解し、町民のみなさんが安心して相談をしてくれるように一生懸命努力していきたいと思えます。

中村真弓

りみつばを1センチ長さに切る。

③①の桜えびにレモン汁をふる。

④③の桜えびに②の長芋、みつ葉をあわせる。その時にこしょう、油、酒、わさび、塩もみのりをませあわせる。

⑤④にレモンのせん切りを飾る。

調理のコツを一つ

長芋、桜えびは下ごしらえしたら、冷蔵庫に入れて冷やし、たべる直前にあえる事。

昔から、おふくろの味はとてもなつかしい味といわれています。少しはその味に近づいたでしょうか。

みなさんも一つ作ってみませんか。家族の健康のためにも、お母さんの知恵袋を大いに活用してください。

善意銀行へ寄託

(敬称略)

S 58・7・8

雑布 五十枚

木島 斉藤 ハル



俳句会

宮 町 増井 冬木

合歓咲いて心に隙間在る日かな
傷心を書いて忘れぬ合歓の花

大北町 天野 たま

一人居に欲しきは言葉夕端居
掃立てし蚕に敷きぬ桑の艶

南町二 法月 幸子

一期一会語れば縁者筍飯
馴れきつて山鳩も蹤く植樹祭

南町一 影島 智子

滴りをいのちの水に如来仏
譲られて譲る檜山に泉鳴る

南町一 田田つぎ子

霧と虹生ませて躍る溪の水
旭 町 笠井みち子

ゆるく淹れて古茶を新茶に仕立てけり

清水町 宇佐美裕子

風鈴の一音も無く月に暈

南町一 上野みつ子

たづね来しこ隠れ里螢草

南町一 上野 君江

雨去りて持ち山大き虹かかる
南町一 望月 洋子

青田風飛行機雲は富士に伸ぶ